

(明治三十四年五月八日第三種郵便物認可(毎月四日十四日廿四日三回發行))

縣報

第六十一號

明治卅四年十二月十四日

和歌山縣

縣令

○和歌山縣令第三百三號

明治三十四年一月和歌山縣令第三號市町村學事獎勵規程第五條第三號ヲ左ノ通改ム
明治三十四年十二月三日
和歌山縣知事 椿 兼一 郎

三、學齡兒童百人中就學兒童歩合男九十七人以上女九十五人以上ニシテ日々出席兒童數
在籍兒童數ノ九分以上ナルモノ

縣報第六十一號

明治三十四年十二月十四日

第三種郵便物認可

二

○和歌山縣令第四百四號

明治三十四年十一月十一本縣令第四百二號炭疽豫防區域中へ左ノ通り追加ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十四年十二月四日

和歌山縣知事

椿 茶 一 郎

一那賀郡池田村大字東園分字東垣内小字六左衛門橋以東 一圓
一全郡根來村大字今中字西垣内 一圓

縣費第六十一號

明治三十四年十二月十四日

第三種郵便物認可

四

○和歌山縣令第五百五號

明治三十四年十一月十一日 本縣令第五百二號炭疽豫防區域中へ左ノ通り追加ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十四年十二月七日

和歌山縣知事

椿 素一 郎

一 那賀郡小倉村大字新在家 一圓

縣報第六十一號

明治三十四年十二月十四日

第三種郵便物認可

六

○和歌山縣令第百六號

明治三十四年十一月十一日 本縣令第百二號炭疽豫防區域中へ左ノ通り追加ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十四年十二月九日

和歌山縣知事

椿 蒸一郎

一海草郡川永村大字川邊字市場ノ内

東 大蓮寺前小路以西

西 小溝以東

南 地堂横小路以北

北 大蓮寺前横小路以南

一圓

縣報第六十一號

明治三十四年十二月十四日

第三種郵便物認可

八

○訓令

○和歌山縣訓令甲第六十八號

縣	全	縣	全	警	郡	廳
金	病	立	分	察	役	中
庫	院	學	署	署	所	一
		校	署	署	所	般
						(監獄署 ヲ除ク)

縣經濟ニ屬スル仕拂金返納金相殺取扱手續別冊ノ通相定ム

但別冊ハ別ニ頒ツ

明治三十四年十二月四日

和歌山縣知事 椿 莒一郎

○正誤

本年十一月 縣報第五十八號附錄和歌山縣訓令甲第六十四號別冊里程表中左ノ通正誤ス

一凡例中第五ノ中貳里五丁トアルハ壹里三十三丁ノ誤

一第三表P濱中村箕島町間ノ距離一、三六、アルハ二、〇〇ノ誤
 黒江町椒村ノ距離三、三六、トアルハ四、〇〇内海村大崎村ノ距離一、三六トアルハ二、〇〇ノ誤

縣報第六十一號

明治三十四年十二月十四日

第三種郵便物認可

十

一第八表中有田郡ノ部御靈村ノ欄生石村ノ下〇、二四、四八トアルハ〇、三四、三八ノ誤

明治三十四年十二月十一日

和歌山縣

○和歌山縣訓令甲第六十九號

郡 役 所
市 役 所
町 村 役 場

痘病請求手續ノ義ハ明治三十一年四月十五日付訓令第十七號ヲ以テ訓令置候處市町村ニ於テハ概テ其所要痘苗其數ノ概算報告ヲ怠リ隨時請求スルカ故ニ製苗上支障不尠候ニ付自今該手續ヲ勵行シ且ツ其ノ概算報告及請求其數共正確ナル基礎ニ依リ算出スヘシ
明治三十四年十二月十日

和歌山縣知事

椿 業 一 郎

報第六十一號

明治三十四年十二月十四日

第三種郵便物認可

十二

○告 示

○和歌山縣告示第二百七十四號

官有地開墾並豫約拂下規程左之通相定ム

明治三十四年十二月三日

和歌山縣知事

椿 葉一郎

官有地開墾並豫約拂下規程

第一條 明治廿三年勅令第二百七十六號官有地取扱規則第七條ニ依リ官有地ヲ無料ニテ借

受ケ開墾シ成功ノ後該約拂下ヲ受ケムトスル者ハ本規程ニ依ルヘシ

第二條 前條ノ出願ヲ爲サムトスル者ハ第壹號様式ノ願書ニ其開墾セムトスル土地ノ面積

及近傍ノ地形ヲ描寫セル圖面ヲ添付スルコトヲ要ス

前項ノ願書ハ所屬市町村長及郡長ヲ經由スベシ

第三條 許可ヲ受ケタルキハ七日以内ニ第二號書案ニ依リ契約證書ヲ作り差出スコトヲ要ス

前項期限内ニ契約證書ヲ差出サ、ルトキハ開墾ノ許可ハ其効力ヲ失フ

第四條 必要ト認ムルトキハ該書案記載ノ契約條件ヲ増減變更セシムルコトアルベシ

前項増減變更ヲ要スル條件及豫約拂下代金ハ許可ノ際之ヲ示スヘシ

第五條 同一ノ土地ニ對シ二人以上ノ出願アルトキハ各出願者チシテ豫約拂下價格ノ入札

書ヲ差出サシメ評價格以上ノ最高價格者ニ許可スルコトアルヘシ

第六條 着手ノ期限ニ至リ着手セス成功ノ期限ニ至リ成功セサルトキハ其許可ハ効力ヲ失

フ

前項ノ着手及成功期限ハ止ムコトヲ得サル事由ニ依リ豫メ延期ヲ出願スルトキハ特ニ許可スルコトアルヘシ

第七條 開墾成功ノ上ハ其旨届出テ検査ヲ受タヘシ

前項検査済ノ上ハ更ニ第三號様式ノ拂下願書ヲ提出スルコトヲ要ス

第八條 開墾ヲ許可シタル場合ニ於テハ豫約拂下價格ノ十分ノ一以上ノ契約保証金ヲ徴スルコトアルヘシ

第九條 本規程ニ依リ貸渡シタル官有地ニ就テハ明治三十四年本縣告示第二百七十一號官有土地水面貸渡規程ヲ準用ス

第十條 明治二十三年勅令第二百七十五號官有財産管理規則第八條又ハ其他ノ事由ニ依リ貸渡ノ契約ヲ解除シ若クハ本規程第四條ノ場合ニ於テハ拂下ノ豫約ハ自ラ解除セラレタルモノト看做ス

(第一號様式)

官有地開墾並豫約拂下願

一 土地ノ表示

何郡何町
大字何字何々番
村

一 荒蕪地
何反歩

一 開墾ノ目的
何々ニ開墾

一 開墾ノ方法
何々

一着手及成功期限許可ノ日ヨリ何日間ニ成功ノ見込

一豫約拂下代金何程

一開墾費用見込額何程

一成功後其土地ニ對スル見込價格何程

右無料ニテ借用致シ開墾仕リ成功ノ上ハ豫約拂下ヲ相受度候間御許可相成度此段相願候也

年 月 日

出願人 住所

氏 名 印

知 事 宛

第二號書案

印紙 契約證書

今般和歌山縣指令内ニ第何號ヲ以テ左記表示ノ官有地ヲ無料ニテ借受ケ開墾スルコトヲ許可セラレタルニ依リ左ノ條件ヲ契約スルモノナリ

一開墾許可ノ土地ハ何郡何町村大字何字何々番官有地ニシテ反別何反歩トス

一開墾人ハ明治三十四年和歌山縣告示第二百七十四號官有地開墾並豫約拂下規程ノ各條項ヲ遵守スルモノトス

一開墾ハ明治何年何月何日ヨリ着手シ何月何日迄ニ成功スルモノトス
但着手及成功トモ即日届出ヅルモノトス

一開墾成功後査済ノ上ハ豫約代金何程ヲ以テ其土地ノ拂下ヲ受タルモノトス

一開墾中官用若クハ公用上其土地ヲ必要トスル場合又ハ開墾人ニ於テ契約ノ條件ニ違

背ノ行爲アルトキハ何時ニテモ無償ニテ契約ヲ解除スルヲ妨ケサルモノトス

一(其他許可ノ際示シタル條件アルトキハ其條件記載ヲ要ス)

右契約候也

年 月 日

出願人 住所

氏

名

印

知 事 宛

(第三號様式)

開墾地 拂下願

何郡何町 大字何字何々番(無番ノ上地ナルトキハ大字又ハ字ノ最終番ヲ記入スヘシ)

一開墾地何反歩

拂下豫約代金何程

右何年何月何日成功檢査相濟候ニ付テハ前記豫約代金ヲ以テ拂下相成度此段相願候也

年 月 日

出願人住所

氏名印

知事宛

○和歌山縣告示第二百七十五號

左記狩獵免狀遺失ノ旨届出アリタリ

明治三十四年十二月三日

和歌山縣知事 椿 泰一郎

乙種三等第ニ七八五號

明治三十四年十月十七日下付

和歌山縣東牟婁郡明神村大字立合

崎 榮 作

○和歌山縣告示第二百七十六號

縣下那賀郡池田村大字東園分湯川長之助飼牛一頭全部根來村大字今中西忠兵衛飼牛一頭炭

痕ニ罹リ本月三日斃死セリ

明治三十四年十二月四日

和歌山縣知事 椿 泰一郎

○和歌山縣告示第二百七十七號

兵庫縣ヨリ左記ノ通戰疫發生ノ通知アリタリ

明治三十四年十二月三日

和歌山縣知事 椿 泰一郎

一神戸市葦合町ノ内筒井村ニ於テ客月二十二日牛二頭全二十四日牛一頭流行性痘口瘡發

生

○和歌山縣告示第二百七十八號

肥料取締法ニ據リ左記ノ者ニ肥料検査官吏ヲ命シタリ

明治三十四年十二月五日

和歌山縣知事

椿 泰一郎

和歌山縣技手

石桁雅五郎

同

山下源一郎

○和歌山縣告示第二百七十九號

明治三十四年度和歌山縣歳入歳出追加豫算左ノ通本年通常縣會ノ議決ヲ經タリ

明治三十四年十二月五日

和歌山縣知事

椿 泰一郎

明治三十四年度和歌山縣歳入歳出追加豫算

歳入

臨時部

第一款 繰越金 金四千五百拾五圓

内 郡收 入 金百九拾九圓七拾錢七厘

第二項 郡市收 入 金四千參百拾五圓貳拾九錢參厘

内 前年度繰越金 金四千五百拾五圓

郡收 入 金百九拾九圓七拾錢七厘

第二款 國庫補助金 金五百圓

但郡市收入

第一項 傳染病豫防費

金五百圓

合計金五千拾五圓

歲出

臨時部

第三款 傳染病豫防補助費

金參千圓

第一項 市町村補助費

金參千圓

第十二款 過年度縣稅

金貳千拾五圓

第一項 過年度縣稅

金貳千拾五圓

合計金五千拾五圓

○和歌山縣告示第二百八十號

縣下那賀郡小倉村大字新在家譽田太三郎飼牛一頭本月五日炭疽ニ罹リ翌六日斃死セリ

和歌山縣知事 椿 泰一郎

○和歌山縣告示第二百八十一號

大坂府ヨリ獸疫發生ノ旨左記ノ通り通知アリタリ

和歌山縣知事 椿 泰一郎

明治三十四年十二月九日

四第三八七七號

管下中河内郡日根市村大字善根寺ニ於テ客月三十日畜牛壹頭炭疽熱ニ罹リ斃死致候此段

及通報候也

明治三十四年十二月四日

和歌山縣御中

大坂府

○和歌山縣告示第二百八十二號

縣下海草郡川永村大字川邊六百三十八番地里村廣助飼牛一頭本月八日炭疽ニ罹リ全日斃死セリ

明治三十四年十二月九日

和歌山縣知事 椿 泰一郎

○和歌山縣告示第二百八十三號

左記狩獵免狀遺失ノ旨届山アリタリ

明治卅四年十二月十日

和歌山縣知事 椿 泰一郎

和歌山縣東牟婁郡四村大字管地

乙種三等狩獵免狀

花尻 甚兵衛

第三三三〇號 明治卅四年十月十六日下付

右明治卅四年十二月三日居村大字大瀬奥山中ニ於テ出獵中遺失ス

○和歌山縣告示第二百八十四號

明治三十四年度蠶種検査結了ニ付左記蠶種検査員ヲ解職セリ

明治三十四年十二月十日

和歌山縣知事 椿 泰一郎

記

右

○和歌山縣告示第二百八十五號

官有土地水面收入金徵收規程左ノ通り相定ム

明治三十四年十二月十日

和歌山縣知事 椿 葉一郎

官有土地水面收入金徵收規程

第一條 官有土地水面ヨリ生ズル諸收入金ハ此規程ニ依リ徵收ス

第二條 土地水面貸渡賃金及使用料ノ徵收期ハ左ノ各項ニ依ル

- 一 年期貸渡ニ係ル賃金及使用料ハ甲年四月ヨリ乙年三月迄分テ甲年四月中ニ其前金ヲ徵收ス

但四月以後新ニ貸渡又ハ使用ヲ許可シタルモノハ初期分ニ限リ許可ノ日ヨリ三十日

谷	河	吉	郎
星	田	伊	三
濱	崎		優
中	村	俊	一
瀧	川	角	之
宮	本	嘉	平
木	村	隆	夫
豐	島	泰	三

以內ニ徵收ス

一 月又ハ日ヲ以テ貸渡シタル貸金及使用料ハ許可ノ日ヨリ三十日以内ニ其貸金及使用料ノ全額ヲ徵收ス

第三條 土地又ハ土石、砂利、竹木等ノ賣渡代金ハ許可ノ日ヨリ三十日以内ニ其全額ヲ徵收ス

第四條 契約ノ解除ニ依リ其貸渡賃金及使用料ノ免除方ハ左ノ各項ニ依ル

一 年を以テ設定シタルモノニシテ官ノ都合ニ依リ解除シタルトキハ月割ヲ以テ其月ヨリ免除シ賃借人又ハ使用人ノ都合若クハ契約違背ニ因リ解除ノ場合ハ其翌月ヨリ免除ス月ヲ以テ設定シタルモノ亦之ニ準ス

一 日ヲ以テ設定シタルモノハ總テ其日ヨリ免除ス

第五條 契約ニ依リ特ニ納期又ハ免除ノ方ヲ定メタルモノハ各其ノ契約ニ従フ

明治三十四年十二月十四日縣報第六拾一號附錄
和歌山縣訓令甲第六十八號別冊

縣經濟ニ屬スル仕拂金返納金相殺取扱手續

縣經濟ニ屬スル仕拂金返納金相殺取扱手續

第一條 縣經濟ニ屬スル仕拂金ノ受取人ニ於テ返納金アルトキハ仕拂命令官ニ於テ納金ヲ扣除シテ仕拂ヲ爲スコトヲ得

第二條 前條ニ依リ發行スル仕拂命令ノ様式ハ書式第一號ニ依リ其ノ發行手續ハ縣會計事務規程第二十條ニ依ルヘシ

第三條 縣金庫ニ於テ前條ノ仕拂命令ヲ以テ現金交換ノ請求ヲ受ケタルトキハ仕拂命令記載ノ總額ヨリ其拂出シ扣除スヘキ金額ハ案内仕拂命令裏面ニ指定スル相當科目ノ返納金トシテ直ニ領收ノ手續ヲ爲シ殘餘ヲ受取人ニ交付スヘシ

第四條 縣金庫ニ於テ前條ニ依リ扣除シタル金額ハ仕拂命令番號及返納科目ヲ附記シ定額戻入トシテ領收濟ノ旨當該仕拂命令官ヘ通知スヘシ

第五條 縣會計事務規程第五十四條ニ依リ仕拂計算書ニ添付提出スヘキ證書書中本規程ニ依リ取扱ヒタル定額戻入ニ關スル證書書類ハ縣金庫ヨリ送付スル通知書ニ返納ノ理由及ヒ算出ノ基ク計算書ヲ添へ證明スヘシ

第六條 仕拂命令官ニ於テ本規程第一條ニ依リ仕拂命令ヲ發行シタルトキハ其ノ定額戻入金ハ同時ニ領收濟トシ計算整理スヘシ但シ縣會計事務規程第三十一條第二項ニ依リ案内仕拂命令ノ返還ヲ求メ其ノ發行ヲ取消シタルトキハ同時ニ定額戻入金モ取消トシテ整理スヘシ

第七條 警察分署出納吏ニ於テ相殺ヲ行フタルトキハ其ノ計算整理ノ順序ハ總テ普通受拂

訓令甲第六十八號

明治三十四年十二月十四日

第三種郵便物認可

二

ノ例ニ依ル但シ扣除金額ニ就テハ書式第三號ニ依リ返納ノ理由及算出ノ基ク返納證明書ヲ作り縣會計事務規程第四十二條ニ依リ警察署長へ提出スヘキ證憑書類ニ添付スヘシ
第八條 本規程ニ依リ相殺ヲ行フタル分ニ對シ本人ヨリ徵スル領收證書ノ様式ハ書式第二號ニ依ルヘシ

(用紙西洋紙縱三寸六分橫

原符三寸
切符四寸五分
案內三寸五分

ノ三枚接續

明治何年
何月何日

第何號 何年度歲出

經常部(臨時部)

何々費(款)何々(項)

金何

內金何程 返納金引去高
現金支拂高

何 某 渡

縣金庫何地出張所

割印

第何號 何年度歲出

經常部(臨時部)

何々費(款)何々(項)

金何程

命 令

右金額此切符發行ノ日ヨリ三十日間ヲ限リ現金交換可有之候也

何 某 渡

年 月 日

官 (職) 氏 名 印

縣金庫何地出張所

割 印

第 何 號 何 年 度 歳 出

經常部(臨時部)

何々費(款)何々(項)

金 何 程

内 金 何 程 返納金引去高
金 何 程 現金支拂高

何 某 渡

年 月 日

官 (職) 氏 名 印

縣金庫何地出張所

明治 年 月 日 送付

案内仕拂命令裏面

交面引去高ハ「可下支那部、臨時部可々費(款)」ノ上領入人印トシテ受人ヲ要ス 仕拂命

書式第二號

領收證書

(備考計算整理ハ爲テ請求金高ニ依リ返納金ノ計算ハ普通返納ノ例ニ依ル)

一金 何 程

請 求 高

但何々工事受負金又ハ何々代

内

金 何 程

何々代何月何日領收ノ内領收過ニ付返納スヘキ分引去高

金 何 程

差引全ク領收高

右金額正ニ領收候也

年 月 日

住 所

氏 名 印

宛

書式第三號

返納金證明書

一金 何 程

何某納 (返納人ノ官名若クハ私人
ナラハ住所ヲ肩書スヘシ)

内 譯

金 何 程

何 々

金 何 程

何 々

但何年何月何日何々代仕拂ノ内金何程支拂フヘキノ處何々(事由詳記)ニ依リ本行
ノ通過渡トナリタルヲ以テ本月何日何費全人へ仕拂金ノ内扣除返納セシメタル分

右證明候也

年 月 日

何警察署何分署出納吏

官 氏 名 印

宛